

# スカウト おおいた

第36号

2013年 6月 1日 発行

日本ボーイスカウト大分県連盟

編集 県連総務委員会

## 「自信と責任を持ってスカウト運動の展開を」

ボーイスカウト大分県連盟コミッショナー 内田 日出男

私たちボーイスカウト大分県連盟は、公益社団法人として新たなスカウト運動をスタートしました。その祝賀会で、私は、法人の会員である県内の団および隊に関係する、指導者、スカウトを代表して、決意を述べさせていただきました。

### 「決意表明」

私たちは、その目的である「大分県内における、ボーイスカウト運動を普及し、その運動を通じて、青少年の健全育成に寄与する」ため、スカウト運動の基本に基づき、その得意技に磨きをかけ

- 一、自発性・自主性によって実施する、班・隊活動を推進します。
- 一、リーダーシップを育成するプログラムを推進、実施します。
- 一、地域貢献活動、国際的な活動を推進します。
- 一、隊、団指導者の個別支援を展開すると共に、お互いに研鑽します。

これらの活動を通じて、社会から評価を得られる、スカウト・青少年を育成していきます。

また、本年は第16回日本ジャンボリーが開催されます。大分県連盟としては、二個隊の派遣を決定し、多くのスカウトが参加できることになりました。

参加スカウトはもちろん、スカウト全員がステップアップする良い機会と捉え、周知な準備を進めて臨みます。

以上、自信と責任を持って、公益社団法人としてスカウト運動を展開していきます。

決意表明の内容は、私たちが取り組まなければならない課題です。本年度は、年間を通しての事業展開の初年度になります。多くの課題がありますが、事業計画の中で仲間と共に



知恵を出し、技を磨き、取り組んでいけば達成できるものと思います。

これまで多くの先輩が動きを止めず、歩を進め、課題に果敢に挑戦してこられたからスカウト運動が継続できています。今私たちがその任にあるわけですから団・隊・県連盟が連携をして、それぞれが持てる力を発揮していきましょう。

スカウティング本来のプログラムを展開するためにはスカウト仲間が必要です。各団前年比五名の仲間を増やすための活動を展開していきましょう。「一人が一人の仲間を増やす」気構えで取り組めば達成できると信じます。

また、期待を持って入団したスカウト・保護者に応えるためにも、指導者は資質の向上に努めましょう。私たちの運動は野外活動を中心とした活動を通じて、青少年を育成していくことです。そのためには、スカウティングスキルを習得し、活用したプログラムの企画・展開力を高めることが必要です。指導者は年に一回以上、定型訓練・定型外訓練・研修会などに参加しましょう。指導者の頑張り・思いはスカウトにも伝わり、受け継いで貰えるものと思います。

「スカウト運動の基本に基づいて、

よりよいスカウトを育てよう。」

## 公益社団法人移行祝賀会

昨年11月1日公益社団法人日本ボーイスカウト大分県連盟として認可登記され、新たに公益法人として発足いたしました。このことを記念



広瀬連盟長の挨拶

し、今年1月13日広瀬勝貞連盟長をはじめ県連関係者 各団代表52名に来賓7名のご参加をいただき、トキハ会館にて移行祝賀会を盛大に開催いたしました。大分第9団BS隊のいやさか太鼓の演奏ではじまり、阿南事務局長の経過報告、連盟長の挨拶、来賓祝辞と続き、ご多忙の中駆けつけていただきましたGS葛西満里子支部長様また衛藤征二郎・穴見陽一衆議院議員 衛藤晟一・磯崎陽輔参議院議員の先生方には過分の激励のお言葉をいただき有難い限りでした。内田日出男コミッショナーの決意表明で、公益法人としての自覚を持ち、なお一層の青少年健全育成の使命を果たし結束して取組ことを誓った次第です。最後に全員で弥栄三唱をして閉会いたしました。

## パイオニアリング

パイオニアリングとは、荒野や開拓地で暮らすような本格的設備を作ることをいいます。スカウト技能の経験を多く積んだチームワークのもとで完成できるスケールの大きな工作物です。ベンチャースカウトの単章のスカウト技能の課題でもあります。今年度は11月7日に七瀬川で開催され、モンキーブリッジに挑戦です。

小雨の中、危険予知のミーティングを行い、事故の無い安全作業を目指し、資材の準備に取り掛かりました。丸太を組み、ロープの張り具合を滑車で調整し、大がかりなブリッジを完成させることができました。

その後は、ロープワークの基本訓練をしていたボーイ隊のスカウトも加わり、ちょっと緊張しながら楽しく橋を渡りました。来年もまた、何を作るか楽しみです。



完成したモンキーブリッジを渡るスカウト

## スキルトレーニング研修会

去る12月2日(日)大分市の昭和電工体育館でスキルトレーニング研修会を43名の参加を得て開催された。

WB実修所への参加は、スキルトレーニングの全項目修了していることが必



ロープワークの練習中

須となったことと、技能を身につけることにより、スカウトの進歩を促すプログラムの幅を広げることなどが目的。

今回は①地図とコンパス②通信③刃物の取り扱い④計測と簡易測量の4つの項目で行われた。昼休みにはロープワークも行った。何も知らない指導者対象で導入・研修・まとめまで行う中身の濃さ。

第1回目ということで、課題も多く残ったが各ブースからは楽しそうな声が聞こえていた。雨振りの寒い1日であったが、コミッショナーから差し入れられた温かい豚汁がありがたかった。

## カブ・ビーバーフェスティバル

カブ・ビーバースカウトが毎年楽しみにしているフェスティバルが、今年は別府市の「おじか」で、3月23日から24日の一泊二日の日程で開催され、県下から180名を超える参加者がありました。

テーマは『冒険ビーバー・強いぞカブ』で、自然環境の中で冒険にチャレンジし、また宿泊を通じて生活規律を身につける訓練を行いました。プログラムの中では、なんとっておじか山夜間登山が最高でした。真っ暗闇の中で懐中電灯も持たず、全員が寄り添いながら、声を掛け合い、安全を確認しながらじっくり時間をかけての登山でした。別府の夜景が

きれいでした。

おやつでいただいたツイストの美味しかったこと、別府9団の方々に感謝です。来年は大分市で開催予定です。楽しみです。



ツイスト焼き

## スキルトレーニング「救急法」

平成25年3月3日 中津市創生園にて 理事長の高椋清医師の指導のもとで実施された。救急法は医師・看護師などによる講習認定が必要であり、今回の大分県連盟安全担当の高椋理事のご好意に感謝します。

はじめに、応急



真剣な訓練

手当の方法について実技講習があった。

ポケットティッシュ、ビニールテープ、ポリ袋などスカウト活動で身近にあるものを利用して、応急手当法を体験した。

次に、毒蛇にかまれた傷など直接圧迫止血法について諸注意があった。マムシにかまれた場合の処置についても昔と今について説明された。

心肺蘇生法の正しい仕方について人形を使って、実際に体験させてもらっていた。

また、AEDについて、初めて取り扱う指導者がほとんどで、貴重な体験だった。いつでも、受けられる講習ではない。今回このような講習会を実施していただいたことに感謝します。



## 各団活動

### 中津第8団

4月21日日曜日中津ダイハツ九州アリーナーで、中津第8団ボーイ隊がアースデイに参加しました。

今回は野外で天候は晴れでしたが肌寒い1日で、ガールスカウトや他の団体が多く参加している中、ボーイ隊は日頃の訓練を見てもらおうと三本の丸太をロープ結んでそれに乗り遊び方と手旗訓練の様子を一般人に見てもらいました。



風からは手旗での交信をすると子供達が集まり、スカウトも気合が入りすぎかミスが見られる場面もありました。

この集まった子供達の中から、ボーイスカウトへ入隊する事を願って今回アースデイに参加してボーイスカウト活動のアピール出来た1日でした。

### 杵築第1団

12月の活動はハイキング。ベンチャー隊は大分空港～杵築20km。カブ・ビーバーは住吉浜から合流7km。途中、3社参りもしました。

1月の活動は凧揚げ・メンコ等の昔の遊びを体験。ポリ袋とストローで凧を作成しました。

2月の活動は年に1度のナイトハイク。銀河鉄道999をテーマに各種ミニゲーム。ゴールしたら皆で一緒に食事。



3月の活動はおしかでのカブ・ビーバーフェスタへ参加しました。

4月の活動は杵築青年会議所主催のドッジボール大会に参加対象年齢外のスカウトは応援。

ベンチャー隊が高校の合宿のため、奉仕として参加できなかったのが残念でした。

### 別府第9団

第15回カブ・ビーバーフェスタの担当団に当たって、1泊2日という企画をすること自体無理もあり、しかも、指導陣は少数、しかし、このプロジェクトを達成することによって、団の力を確認し、また進展することができ

るとの合意の下に団全て挙げての取り組みをした。

即ち、VS・BS 隊員はもとより保護者一丸となつての奉仕活動により、長時間のプログラムを何とか無事に終えることができたことは、団一同の喜びとするところであり、今後の団運営の大きなステップとなったようである。



### 大分第1団

5月の隊集会は、ビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊の3隊合同で、野外調理を5月12日に行いました。ビーバー・カブ・ボーイのスカウト達はそれぞれに準備してきた材料で料理を作りました。



調理の後、ビーバー隊のサンドイッチ・カブ隊のホットドッグ・ボーイ隊の防災用炊飯袋で炊いた炊き込みご飯と麻婆豆腐をそれぞれ思い思いの料理をおいしくいただき、ビーバー隊からは、デザートにドリアンも振る舞われて「臭いけどおいしい」との声がちらほら聞こえる楽しい隊集会となりました。

### 大分第2団

12月16日に開催した「喜びのつどい」は、「恵みに感謝」をテーマに①お餅つき②ユニセフ募金③年賀状づくりを、ビーバー隊からベンチャー隊までの3つの混合チームで、各活動を順番に行いました。



お餅つきは、自分達でついた餅を自分達でまるめて食べました。募金はユニセフについての勉強をし、街頭で大きな声で行いました。年賀状作りは往復ハガキを利用して、誰から届くかが内緒のサプライズ企画。食事、家族、友への感謝を思う活動でした。



### 大分第5団

大分第5団は昨年12月16日に餅つき演劇会を実施。一人ひとり杵を持ちお餅つきを経験。後半は各隊毎に特徴ある出し物に挑戦！わがビーバー隊では1ヶ月前から歌のインストラクターの方の指導をいただき、歌とダンスの練習に取り組みました。当日は手作りのとんがり帽子をかぶり、

「あわてんぼうのサンタクロース」の歌とともにダンスをみんなの前で披露しました。とても可愛いビーバーさん



たちはいつもお兄ちゃんお姉ちゃんのスカウトからも大人気。写真は演劇終了後の1コマ。手作りのクリスマスツリーを持ち、笑顔がいっぱいでした。

乗り遊び方と手旗訓練の様子を一般の人に見てもらいました。

昼からは手旗での交信をすると子供達が集まり、スカウトも気合が入りすぎかミスが見られる場面もありました。

この集まった子供達の中から、ボーイスカウトへ入隊する事を願って今回アースデイに参加してボーイスカウト活動のアピール出来た1日でした。

### 大分第9団

春キャンプで恒例のタケノコ掘りをしました。タケノコは小さい方が柔らかくて美味しいのですが、何故かスカウト達は大きいタケノコを狙います。



スカウト達は斜面で足を滑らせて軍手や服を泥だらけにしたり、途中でタケノコを折ってしまったりと悪戦苦闘です。タケノコを掘り上げたスカウト達は満足顔ですが、皮を取った後の大きさにもびっくりです。

取ったタケノコは、美味しいタケノコカレーに変身しました。楽しいキャンプでした

### 由布2団

3月30日に行われた夜間ハイク。

大友氏遺跡体験学習館から、由布市立石城小学校の16.2キロのコースでした。

今回は由布第2団の担当とあって、夜食はうどんを、当団の保護者が準備してくれました。ボーイ隊のスカウ

トの数は9名。保護者は、母親9名父親1名の10名が参加。材料の買い出しから下準備、全て保護者です。皆さん素晴らしい役割分担と手際の良さ。うどんも美味しく、大好評。お代わりもたくさん出ました。片づけも全て完璧に行い2時過ぎに解散。

自ら考え行動する保護者は、由布第2団の自慢の一つです。



### 津久見第1団

恒例の春休み一泊ハイキング、今年は、竹田市を歩きました。ミスターセブンの案内により、指令書を頼りにゴールを目指すミステリーハイクです。



初日は、竹田市役所をスタートし、銭座・武家屋敷・愛染堂・滝廉太郎トンネル・広瀬神社などを経由し、歴史資料館をゴールとするコースでした。しっかり学びました。

二日目は長湯「道の駅」を出発し、靱山湧水・靱山神社を經由し、神秘的な清滝までのコースでした。

二日間、班で協力しながらたのしい冒険ができました。これからも「ちかい」と「おきて」の実践を忘れずにがんばります。

## 16NJ情報

#### 派遣団編成

派遣団長 芳山憲祐(大分第2団)

派遣団2名 JST1名 IST17名

関サハ隊 隊長 真田康広(由布第2団) 40名

関アジ隊 隊長 得丸正義(大分第2団) 40名

※16NJ県連総参加人数 100名

#### 今後の日程

事前訓練 6月16日(日) 10:00~坂ノ市公民館

事前訓練 7月7日(日) 10:00~明治明野公民館

結団式 7月7日(日) 13:00~明治明野公民館

連盟長表敬 7月24日(水) 15:00 知事室(代表)

先発隊出発 7月29日(月) 06:00 県連事務所

派遣団出発 7月31日(水) 時間場所別途

派遣団帰着 8月8日(木) 16:00 頃大分駅

先発隊帰着 8月9日(金) 16:00 頃県連事務所